■報告～ガウディの建築作品とル・コルビジエのサヴォア邸

原田正彦

2019.05.3～05.11 まで、スペイン・バルセロナとフランス・パリに行ってきた。中でも印象に残ったガウディの作品とル・コルビジエのサヴォア邸を紹介する。

1. ガウディ

アントニ・ガウディ（Antoni Plàcid Guillem Gaudí i /1852 年 6 月 25 日～1926 年 6 月 10 日）は、スペイン、カタルーニャ出身の建築家。19 世紀から 20 世紀にかけてのモデルニスモ（アール・ヌーヴォー）期のバルセロナを中心に活動した。サグラダ・ファミリア（聖家族教会）・グエル公園(1900-14)・カサ・ミラ（1906－10）をはじめとしたその作品はアントニオ・ガウディの作品群として 1984 年ユネスコの世界遺産に登録されている。

○主な建築作品

年	名称	所在地	備考
1883-	サグラダ・ファミリア	バルセロナ	言わずと知れたガウディの大作。未完だが、日本人外尾氏らの活躍もあり、現在 2026 年の完成を目標としている。
1898-1914	コロニア・グエル教会地下聖堂	サンタ ・コロマ・ダ・サルバジョ	未完、コロニア・グエルにある小会堂で、グエルがそこの労働者たちのために建てた宗教施設。
1900-14	グエル公園	バルセロナ	バルセロナの街が一望できる高台に計画された分譲住宅地。自然と芸術に囲まれて暮らせる、新しい住宅地を目指したが、売れずに中断。グエル没後、市に寄付された。
1904-06	カサ・バトリョ	バルセロナ	曲線を特徴とするモデルニスモの顕著な作例。現在修復中。
1905-07	カサ・ミラ	バルセロナ	直線部分をまったくもたない建造物になっていて、壮麗で非常に印象的な建物。現在 2 階はレストラン。またその他の内部はガウディ建築に関する博物館になっている。EV があり、屋上広場へ出ることができる。
1909	サグラダ・ファミリア付属学校	バルセロナ	サグラダ・ファミリア教会の建設労働者の子供たちのための学校。その精神が素晴らしい。

▲グエル公園

▲コロニア・グエル聖堂

▲カサ・ミラ

▲サグラダ・ファミリア教会

▲カサ・バトリョ

▲サグラダファミリア付属学校

2. ル・コルビジエ

ル・コルビュジエ（Le Corbusier/1887 年 10 月 6 日～1965 年 8 月 27 日）はスイスで生まれ、フランスで主に活躍した建築家。フランク・ロイド・ライト、ミース・ファン・デル・ローエと共に「近代建築の三大巨匠」として位置づけられる（ヴァルター・グロピウスを加えて四大巨匠とみなすこともある）。第 40 回世界遺産委員会（2016 年）にて「ル・コルビュジエの建築作品―近代建築運動への顕著な貢献―」で世界遺産リストに登録。ペレとベーレンスの影響は大きかったと言われる。表現主義的なコンクリート作品はペレの影響、詩的な機能主義はベーレンスの影響。

〇主な建築作品

名称	竣工年	所在地	国	備考
レマン湖の小さな家（母の家）	1923 年	コルソーヴェヴィ	スイス	
ヴァイセンホーフ・ジードルングの住宅	1927 年	シュツットガルト	ドイツ	
ソヴィエトパレス	1931 年	モスクワ	ロシア	計画案
サヴォア邸	1931 年	ポワッシー	フランス	
スイス学生会館	1932 年	パリ	フランス	
国際連合本部ビル	1947 年	ニューヨーク	アメリカ合衆国	計画案
マルセイユのユニテ・ダビタシオン	1952 年	マルセイユ	フランス	
ロンシャンの礼拝堂	1955 年	ロンシャン（フランス語版）	フランス	
合同庁舎 ＊	1958 年	チャンディガール	インド	
ラ・トゥーレット修道院	1959 年	リヨン郊外	フランス	
国立西洋美術館	1959 年	東京都台東区	日本	基本設計

〇サヴォア邸

サヴォア邸（Villa Savoye、ヴィラ・サヴォア）は、ル・コルビュジエが設計したフランス・パリ郊外のポワシーにある近代建築の住宅。1928 年設計開始。1931 年竣工。

サヴォア邸では、①ピロティ、②屋上庭園、③自由な平面、④独立骨組みによる水平連続窓、⑤自由な立面からなる「近代建築の五原則」のすべてが、高い完成度で実現されている。また、平面の中央には緩やかなスロープが設けられ、1 階と 2 階を連続的に繋いでシークエンスを形成している。「建築的プロムナード」とも言われる。

広大な敷地に建つ住宅、別荘だが、現在は、隣接して高校が建てられ、サヴォア邸は博物館として公開されている。入場料 7.5€（ほぼ 1000 円）

ほぼ全部が RC 造のように見えるが、古写真では柱・梁・床スラブのみコンクリートで、腰壁や曲面壁部分はほとんどが煉瓦、外装はほとんどがスタッコ仕上げである。

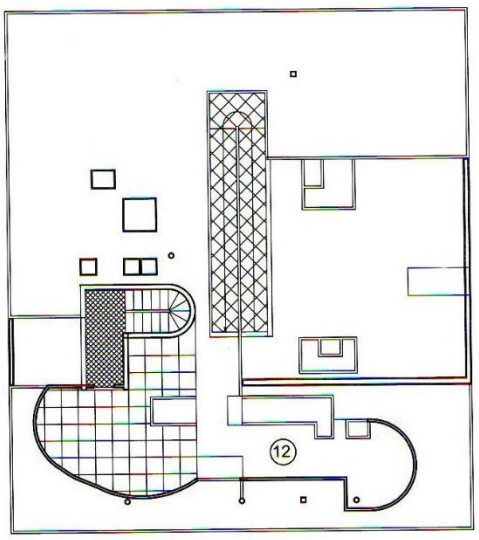
設計者 － ル・コルビュジェ、 ピエール・ジャンヌレ
依頼主 － ピエール・サヴォア夫妻
住所 － 82 , rue de Villiers, 78300 , Poissy
面積 － 10,365m2、ヴィラ面積 440m2
年代 － 1928～1931 年
用途 － 専用住宅
構造 － 鉄筋コンクリート造

▲サヴォア邸(1931 年)

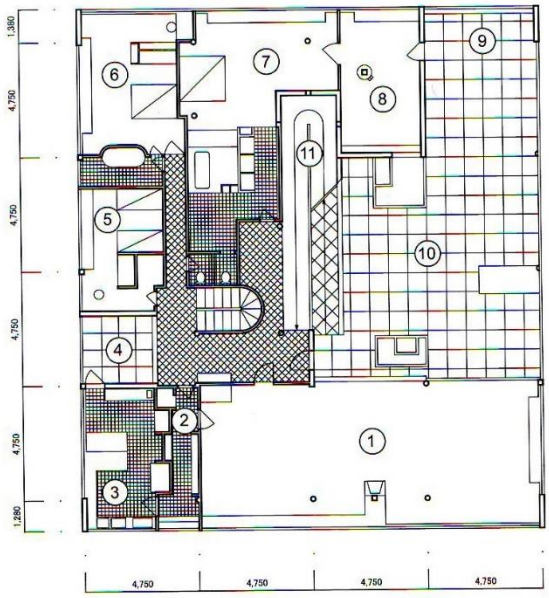
サヴォワ邸平面図

1：サロン
2：配膳室
3：キッチン
4：サーヴィス・バルコニー
5：客室
6：子供室
7：主寝室＋浴室
8：夫人の私室（ブドワール）
9：アプリ
10：ルーフテラス（屋上庭園）
11：スロープ
12：ソラリウム（日光浴場）

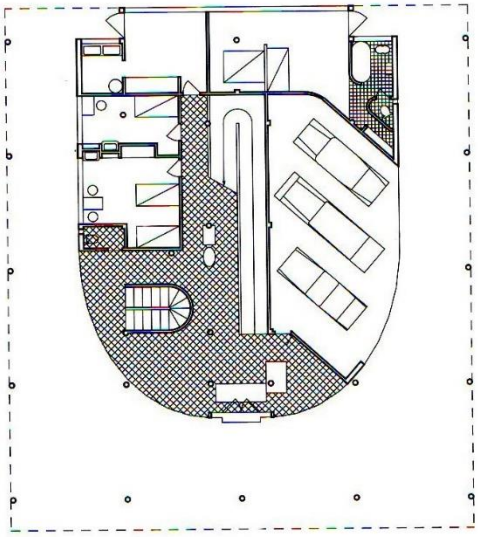
3F



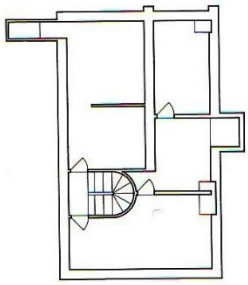
2F



1F



B1



※チャーチ邸、クック邸、ラ･ロッシュ＝ジャンヌレ邸などにも、サヴォア邸と同様の印象が伺える。サヴォア夫人は、チャーチ邸を見て、コルビジェに設計を依頼したとされる。